

家庭学習のてびき

2024/R6年度
美幌小学校

保護者の皆様へ

小学校の学習は、将来子どもたちが社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校でも学習内容が身に付くように日々工夫・努力していますが、ご家庭と連携することで、より確かに定着させることができると考えています。この手引きをお子さんと一緒にお読みになり、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

1. 「家庭学習」の目的

- ①生活時間の有効な使い方を身につける
- ②家庭での学習習慣や学習方法を身につける
- ③基礎的・基本的な学習内容を身につける

2. 取り組み方

- ①毎日必ずする（できるだけ同じ時間に）
- ②「ながら勉強」はしない（テレビなどは消す）
- ③机の上に余計な物は出さず、よい姿勢で行う

基礎的・基本的な学習内容とは？

学校で学習する勉強内容（教科書にのっている内容）です。各学年での学習内容はつながりを持っていますので、次のようなことを確実に身に付けておかないと次の学年で困ることになります。

- ・教科書の文章をすらすら読める。
- ・学年の漢字の読み書きができる。
- ・教科書の算数の問題が解ける。

3. 「家庭学習」＝「自学」＋「宿題」

	1・2年生の目標	3・4年生の目標	5・6年生の目標
家庭学習	学校の宿題はできる	学校の宿題は確実にできる	宿題が出なくても自学ができる
「宿題」 学校から出されたもの			
「自学」 自主的に考え行う学習	毎日家でも学習しようという気持ちをもつ	宿題以外にも少しずつ自学ができる	自分の興味や必要性に応じた自学ができる
時間の目安 (学年×10分)	1年生 = 10分以上 2年生 = 20分以上	3年生 = 30分以上 4年生 = 40分以上	5年生 = 50分以上 6年生 = 60分以上

※学習内容は、各学年のページを参考にしてください

4. 保護者の皆様へのお願い

- ①声をかけて（最後までやりとげられるよう…はげましてあげてください）
- ②答えてあげて（たずねてきたら…きる範囲で）
- ③目を通して（学習したことにできるだけ…毎日が無理なら、週に1度でも）
- ④環境を整える（学習しやすい環境を…必要なら大人も我慢…）

5. 読書は「減ることのない財産」を築きます

教科書の学習内容だけでは学ぶことができない、幅広い「言葉や知識」、「ものの見方」、「考え方」や「感じ方」など、多くの力を養い、豊かな心を育ててくれるのが読書です。家庭学習の一つとして読書に親しむ時間を増やすことができるよう、ご家庭での時間の使い方をアドバイスしてあげてください。

■■■低学年の家庭学習のポイント

低学年は、生活習慣や家庭学習習慣を身に付けるスタートライン

- 学校に通い、系統だった学習が始まります。様々なことに興味をもち、自分でやっていこうとする時期です。とは言え、やる気ばかりでやり方はまだわかっていません。手助けをしながら、できたことは「よくやったね!」と笑顔でほめ、意欲と自信につなげていきましょう。
- 「早寝、早起き、朝ごはん」はもちろんのこと、持ち物や時間割を揃える時間を決めるなど、家庭での生活リズムをつくり、自ら行動する意識を育てていきましょう。
- どんな出来事も自分の都合いいように話してしまう傾向がありますが、小さなことでも「えらかったね」とほめてあげることが意欲につながります。

■この頃の育ち

- 何でも知りたがっています
- 頑張ったこと、良いところをほめてほしいと思っています
- 一人で学習することや、やり方を決めるのは難しいです



■家庭学習のポイント

一緒にいてやる気をおこさせる

- 一人よりも大人の姿が目に入り、言葉を交わせる所で学習すると、わからないことをすぐ相談でき、声かけもできます。見守られているという温かい雰囲気をつくってあげましょう。
- 学習の前に机の上の物を片付けるなど身の回りの整理整頓をさせましょう。
- 学校からのプリント（ファイルから出す）や宿題は、大人と一緒に確かめましょう。
- 学習する時間や、何時までに学習を終えるか目標をもたせましょう。
- 正しいえんぴつの持ち方に注意させましょう。
- 早寝早起き、食事、排便、姿勢、挨拶、などの基本的な生活習慣が身に付くと、学習の習慣も身に付けやすくなります。
- テレビやゲームの時間を決め、徹底させましょう。まずは大人がお手本となりましょう。

■子どもとの関わり3つのポイント

①子どもの話はしっかり聞く

毎日お忙しいとは思いますが、時には時間をたっぷりにとって子どもの話を聞きましょう。何か問題があった場合は子どもの言うことを全て鵜呑みにするのではなく、事実が明らかになるように上手に話をさせましょう。そして、この次はどうすればよいか一緒に考えてあげるようにしましょう。

②家族も一緒に根くらべ

「宿題は最後までやる」など、決めたことをきちんと守らせましょう。テレビやゲームも時間のけじめをきちんと守らせましょう。根負けせず、ねばり強くはたらきかけることが大切です。

③子どもは大人の背中を見て育つ

大人がお手本となるような「学ぶ」姿勢を見せましょう。家族ぐるみでより良い学習環境づくりに努めることが大切です。「家族と一緒に読書の時間」などは大変効果的です。

1ねんせいのかていがくしゅう … 10分～

◎ 学年で身に付けたい力

- えんぴつをただしくもって、ただししいせいで文字が書ける。
- ひらがな、カタカナの清音が読めて書ける。
- 助詞「てにをは」を使い分けて文章を書ける。
- 新出漢字80字すべてが読めて書ける。
- 100までの数について、数えたり表したりできる。
- 一けたのたし算やひき算が正確にできる。



もくひょう

- ◎ いえにかえったら、すぐにしゅくだいをしましょう。
- ◎ まいにち10ぶんいじょう、がくしゅうしましょう。やすみのひはもっとがんばってみましょう。
- ◎ てれびをみないでやりましょう。

かていがくしゅうのまえに…

- がっこうからのおてがみを、おうちのひとにわたしましたか？
- ベンキョウするばしょは、かたづいていますか？

こんながくしゅうをしましょう

- ① はじめに しゅくだいを します。（おわったら おうちのひとに みて もらいましょう。）
- ② つぎに したの ような ベンキョウを しましょう。

【こくご】

おすすめ	ベンキョウのしかた
1 きょうかしょをよむ	○きょうかしょの いま ベンキョウしている ところを こえにだして よみます。
2 ひらがな カタカナ をかく	○ならった じを、かきじゅんに きをつけて いちにちに 2つずつ かきます。 （「とめる」、「はらう」、「はねる」もしっかり）
3 かんじを おぼえる	【ドリルをつかって】 ① かんじを こえにだして 3かい よみます。 ② ひらがなの ところを みて、ノートに かんじに なおして かきます。 ③ もういちど かんじの ところを みて まるつけを します。 ④ まちがえて いた じは ノートに 3かい かきます。
4 にっきを かく	○いつ・どこで・だれと・なにをしたかを かきます。 ○ならった ことばや カタカナ、かんじをつかって かきます。 ○おもった ことも かきます。

【さんすう】

おすすめ	ベンキョウのしかた
1 きょうかしょの もん だいを する	① がっこうでベンキョウしたもんだいを、もういちど じぶんで やってみます。 ② さんすうの ノートを みて、まるつけを します。 ③ まちがえた ときは、もういちど します。
2 けいさんのれんしゅ うを する	【ドリルをつかって】 ① ばんごうを かき、もんだいを ノートに うつして かきます。 ② しきや こたえを かきます。 ③ こたえを みて まるつけを します。 ④ まちがえて いた ところを おうちの ひとに きいて なおします。

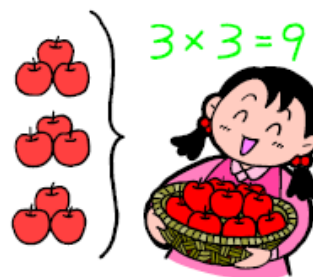
かていがくしゅうのあとに…

- つぎのひのじかんわりをたしかめましょう。
- えんぴつはすべてけずりましょう。

2年生の家てい学しゅう … 20分～

◎ 学年で身に付けたい力

- ・新出漢字160字すべてが読めて書ける。
- ・順序よく話をするができる。
- ・九九がスラスラ言える。たし・ひき・かけ算が速くできる。
- ・筆算をきれいに書きながら、計算できる。
- ・決められた長さの直線を正確に引くことができる。
- ・時計の針を見て、何時何分か読むことができる。



目ひょう

- ◎家に帰ったら、すぐにしゅくだいをしましょう。
- ◎毎日20ぶんいじょう、学しゅうしましょう。休みの日はもっとがんばってみましょう。
- ◎テレビを見ないでやりましょう。

家てい学しゅうのまえに…

- 学校からのお手がみを、おうちの人にわたしましたか？
- べんきょうするばしょは、かたづいていますか？

こんな学しゅうをしましょう

- ①はじめに しゅくだいを します。（おわったら おうちの人に見て もらいましょう。）
- ②つぎに 下の ような べんきょうを しましょう。

【くご】

おすすめ	べんきょうのしかた
1 きょうかしよをよむ	○きょうかしよの いま べんきょうしている ところを 声にだして よみます。
2 かんじを おぼえる	【ドリルをつかって】 ① かん字の ところを、声に出して3回 よみます。 ② ひらがなの ところを 見て、ノートに かん字に なおしてかきます。 ③ もうーど かん字の ところを 見て まるつけを します。 ④ まちがえて いた 字を ノートに 3回 かきます。 (つぎの日も かいて たしかめます。) ⑤ならった かん字を つかって みじかい 文をつくり、ノートに かきます。
3 にっきを かく	○いつ・どこで・だれと・なにをしたかを かきます。 おもった ことも かきます。 ○ならった ことばや かん字を つかって かきます。 ○かいわの「 」をつかって かきます。
4 どくしょを する	○いろいろな 本を よみます。

【さんすう】

おすすめ	べんきょうのしかた
1 きょうかしよのもん だいを する	① 学校で べんきょう した ところを、もうーど ノートに やってみます。 ② さんすうの ノートを見て、まるつけを します。 ③ まちがえた ときは、もうーど します。
2 けいさんの れんし ゅうを する	【ドリルをつかって】 ① ばんごうを かき、もんだいを ノートに うつして かきます。 ② しきや ことばを かきます。 ③ ことばを 見て まるつけを します。 ④ まちがえて いた ところは おうちの人にかいて かきなおします。

かてい学しゅうのあとに…

- つぎの日のじかんわりをたしかめましょう。
- えんぴつはすべてけずりましょう。

■ 中学年の家庭学習のポイント

好奇心旺盛な中学年は、学習意欲を高めるチャンス

- ・自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなります。行動範囲も広がってきます。自己主張や口ごたえなどの反抗も見られるようになりますが、まだまだ手助けが必要です。
- ・みんなで行動することを好み、同じ物を持ちたがります。
- ・子どもの成長をとらえ、まずはしっかり聞いてあげることを心がけ、家族の温かい声かけで学習に対する興味関心を高め、意欲を育てていきましょう。

■この頃の育ち

- 何でも自分でやりたいと思っていますがはじめから上手くはできません
- 手助け、応援で、少しずつ自分でできるようになります
- ちょっとしたアドバイス、励ましでやる気を起こします

■家庭学習のポイント

認め、ほめて、自信をつける

- ・学習する時は身の回りの整理整頓をさせましょう。
- ・学校からのプリントの手渡し、宿題は自分で確かめさせましょう。
(プリントは、「置く場所を決める」「食事の時間に渡す」などルールを作る)
- ・がんばりを見逃さず、励ましの言葉をかけましょう。
(わからないところは答えを教えるのではなく一緒に考えてあげましょう)
- ・毎日、決まった時間帯に学習できるようにしましょう。



■脳の機能が最も発達する時期

この時期から脳の働きが大きく発達すると言われています。そして、長時間のテレビ視聴やゲームが脳の『前頭前野』によく影響を与えることが分かっています。家庭でのルールの徹底が大切です。

■子どもとの関わり3つのポイント

①約束を決めて守らせましょう。

ゲームや外遊びなどは、時間を決めてしっかり守らせましょう。守れない時はゲームをやらせないなどの約束をつくり、決まりを守る態度を育てましょう。

②ほかの子と比べない。

学習に少しずつ個人差が出てくる頃です。友だちや兄弟・姉妹で成長を比べることは避けて、「がんばり」を見逃さずに本気でほめましょう。

③言葉づかいを教えましょう。

ご家族の電話のやりとりや近所の人との会話を見て、子どもは敬語をおぼえ、目上の人との関わり方を学びます。大人のすることを真似て、知識としておぼえます。言葉だけではなく、気持ちが大切なことを教えることも大切です。敬語が正しく使えなくても、相手に尊重の気持ちを伝えることが大切なことを教えてあげてください。

脳の司令塔『前頭前野』の働きとは？

- ① 表情や声の様子から人の気持ちを推測する働きがあります。
- ② ものを覚えようという気持ちも、前頭前野から出てきます。
- ③ 「さあ、がんばろー！」という「やる気」、なにかをやってみようという「挑戦する気持ち」、反対に、やっつけられない、という気持ちも前頭前野から出てきます。人を傷つけてはいけない、盗んではいけない、これも前頭前野が教えてくれています。
- ④ 悲しいこと、くやしいことがあっても、人前では顔に出さず我慢する気持ちも前頭前野の働きです。前頭前野がうまく働かないと、ちょっとしたことですぐキレたり、メソメソしてしまいます。
- ⑤ 前頭前野は、いろいろなものを発明する力も発揮します。ノーベル賞をもらうような発明や発見をする人はとても上手に前頭前野を使えるのです。音楽や絵画など、素晴らしい芸術作品を作りだす力も前頭前野の仕事です。
- ⑥ 周りのことを気にしないで、一つのことに打ち込む集中力は、前頭前野の働きです。反対に、複数のことを同時にできる力も前頭前野の働きです。
- ⑦ 私たちは、前頭前野を使っていろいろなことを考えています。人とは違ったアイデアがたくさん浮かんでくるような人は、前頭前野をつまよく使える人です。人の話を聞いたり、本を読んだりしたことについて、自分の考えを持てる人、スポーツが上手な人・・・、みんなたくみに前頭前野を使っているのです。

3年生の家てい学しゅう … 30分～

◎学年で身に付けたい力

- 配当漢字200字すべてが読めて書ける。
- 短い詩などを暗誦できる。簡単なことわざを知っている。
- 主語、述語の意味がわかる。
- 国語辞典を使うことができる。
- かけ算の筆算や簡単なわり算を正しい手順で計算できる。
- はかりを使って重さをよめる。



目ひょう

- ◎家に帰ったら、すぐに宿題をしましょう。
- ◎毎日30分以上、学習しましょう。休みの日はもっとがんばってみましょう。
- ◎宿題以外でも、できそうな学習にちょうせんしましょう。

家てい学習の前に…

- 学校からのお手紙を、家の人にわたしましたか？
- 勉強する場所は、かたづいていますか？

こんな学習をしましょう

- ①はじめに 宿題を します。（おわったら お家の人に 見て もらいましょう。）
- ②つぎに 下の ような 勉強を しましょう。

【国語】

おすすめ	学習の仕方
1 教科書を読む	○今 勉強している ところを 声に出して 読みます。
2 かん字を練習する	【ドリルを使って】 ① かん字のところを、3回読みます。 ② ひらがなのところを見て、ノートにかん字に直して書きます。 ③ もう一どかん字のところを見て、答え合わせをします。 ④ まちがえていた字をノートに3回書きます。 ○習ったかん字を使って、たん文を作り、ノートに書きます。 ○ぶ首や画数をしらべて、ノートに書きます。
3 いみをしらべる	① 語くをうつします。 ② じてんでいみをしらべます。 ③ れい文をうつします。 ④ しらべた語くを使って、たん文を作り、ノートに書きます。
4 大じなことをまとめる	○学習したことのじなところを、自分なりにノートにうつしてまとめてみます。
5 ししゃをする	○教科書の文をていねいにノートにうつします。（ノート1ページくらい） ※（、）や（。）、（「」）、マスの使い方に気をつけてうつします。
6 日記を書く	○だいや月日を書きます。 ○できごとや気持ちをわかりやすく書きます。 ○ならったかん字や語くを使って書きます。 ○会話の「」やだんらくに気をつけて書きます。
7 読書をする	○いろいろな本を読みます。（学校や町の図書かんでかいてもいいね。）

【算数】

おすすめ	学習の仕方
1 ぶん算をする	① 学校で学習したもんだいを、もう一どノートにやってみます。 ※文しょうもんだいは、もんだい文もうつします。 ② 算数のノートを見て、答え合わせをします。 ③ まちがえたときは、もう一どします。（つぎの日もといてたしかめます。）
2 計算の練習をする	【ドリルを使って】 ① 番ごうを書き、もんだいをノートにうつして書きます。 ② 式や答えを書きます。（ひっ算も書きます。） ③ 答え合わせをし、まちがえていた問題は、お家の人や先生に聞くなどして、しっかりと直します。 ○時間を計って記録していきます。
3 よ習をする	○つぎに学習するところを読みます。

かてい学習のあとに…

- つぎの日のじかんわりをたしかめましょう。
- えんぴつはすべてけずりましょう。

4年生の家庭学習 … 40分～

◎学年で身に付けたい力

- 配当漢字200字すべてが読めて書ける。
- 国語辞典や漢字事典を使うことができる。
- 文と文のつながりを考えながら、指示語、接続語を使う。
- わり算の筆算ができる。倍を使った文章問題が正しくできる。
- コンパスを正しく使うことができる。
- ローマ字の読み書きができる。
- 地図を使って見知らぬ場所や地名を調べることができる。
- 47都道府県の位置がわかり、名前を書くことができる。



目ひょう

- ◎全員が毎日家庭学習をする習慣を身に付けましょう。
- ◎毎日40分以上、学習しましょう。休みの日や夏休みはもっとがんばってみましょう。
- ◎自主的な学習にも取り組みましょう。

家庭学習の前に…

- テレビやゲームのスイッチは消しましたか？
- 勉強する場所は、かたづいていますか？

こんな学習をしましょう

- ①はじめに 宿題を します。（おわったら お家の人に 見て もらいましょう。）
- ②つぎに 下の ような 勉強を しましょう。

【国語】

おすすめ	学習の仕方
1 教科書を読む	○今 勉強している ところを 声に出して 読みます。
2 漢字を練習する	【ドリルを使って】 ① 漢字ののところを、3回読みます。 ② ひらがなのところを見て、ノートに漢字に直して書きます。 ③ もう一度漢字のところを見て、答え合わせをします。 ④ まちがえていた字をノートに3回書きます。 ○習った漢字を使って、短文を作り、ノートに書きます。 ○部首や画数をしらべて、ノートに書きます。
3 意味を調べる	① 語くを写します。 ② じてんで意味をしらべます。 ③ れい文を写します。 ④ 調べた語くを使って、短文を作り、ノートに書きます。
4 大事なことをまとめる	○学習したことの大事なところを、自分なりにノートに写してまとめてみます。
5 ししゃをする	○教科書の文をていねいにノートに写します。（ノート1ページくらい） ※（、）や（。）、（「」）、マスの使い方に気をつけて写します。
6 日記を書く	○だいや月日を書きます。 ○できごとや気持ちをわかりやすく書きます。 ○習った漢字や語くを使って書きます。 ○会話の「」やだん落に気をつけて書きます。
7 読書をする	○いろいろな本を読みます。（学校や町の図書館でかいてもいいね。）

【算数】

おすすめ	学習の仕方
1 ふく習をする	① 学校で学習した問題を、もう一度ノートにやってみます。 ※文章問題は、問題文も写します。 ② 算数のノートを見て、答え合わせをします。 ③ まちがえたときは、もう一度します。（つぎの日もといてたしかめます。）
2 計算の練習をする	【ドリルを使って】 ① 番号を書き、問題をノートに写して書きます。 ② 式や答えを書きます。（筆算も書きます。） ③ 答え合わせをします。 ④ まちがえていた問題は、お家の人や先生に聞くなどして、しっかりと直します。 ○時間を計って記ろくしていきます。
3 予習をする	○つぎに学習するところを読みます。

家庭学習のあとに…

- 次の日の時間割をたしかめて明日のじゅんぴをしましょう。
- 筆箱の中をたしかめましょう。えんぴつはすべてけずりましょう。

■高学年の家庭学習のポイント

高学年は、中学校に向け、自主性を育てるとき

- ・自立心が大きく育ちます。また、一人前に接してもらえているか、大切にされているかなど、大人の評価が気になり始める時期でもあります。
- ・自分を客観的に見ることができるようになり、友達の評価を気にし、上手に人間関係をつくれないうちに心を痛めることがあります。
- ・考える力も大人並になり、時には大人への反抗も見られます。
- ・体も心も急激に変化します。バランスがくずれ、不安定になることがあります。心配なことがあれば学校としっかり連絡を取り合うことが大切です。

■この頃の育ち

- 自分でできているので、言葉かけに配慮が必要です
- 得意な教科や苦手な教科ができてきます
- 先生や家族の言葉によって、学習に対する意欲や興味が大きく左右されます



■家庭学習のポイント

見守って、伸ばす

- ・計画を立て、自力で学習を進めるよう見守りましょう。
- ・宿題以外の自主学習に取り組ませましょう。
- ・新聞やニュースなどの話題を家族で話すなど、社会の動きに興味を持たせましょう。
- ・自分に合った生活リズムを作らせましょう（夕食前、早朝など学習に取り組む時間帯を決める）。

■子どもとの関わり3つのポイント

①自学（自主的に考え行う学習）の習慣をつける。

高学年としての自覚を持った学習・生活をさせましょう。宿題だけをするのではなく、視野を広げるための読書や自分の好きなことに費やす時間なども作らせましょう。また、生活のリズムを整え、夜更かしをしない、朝ご飯を食べる、自分のことは自分でするなどの生活ができているか見直しさせましょう。

②よく考えて行動する習慣をつける。

自分がしようとしていることの結果はどうか、行動する前に考えさせるようにしましょう。また、自分がしたことへの責任の取り方を教えましょう。友達に言われるままに行動したり、友達に迎合したりしないで、善悪の判断が正しくできるようにさせましょう。

③子どもの存在を認めよう。

反抗的な態度をすることが多くなりますが、子どもにも言い分があることが多いようです。よく話を聞き、納得できるものか話し合ひましょう。頭ごなしに否定はいけませんが、ダメなことはダメとはっきり教えましょう。

ネット・SNSの利用には必ず「ルール」を

最近、インターネットを通じた事件やいじめ、有害サイト被害、生活の乱れなどの事例が増えています。

また、自分だけの携帯電話・スマートフォン・タブレット、ネット接続できるゲーム機などを持っている子どもが増えてきています。

大人が正しい知識をもち、子ども任せにしないでルールを作り、しっかり守らせましょう。

■ 中学校へつなげる

高学年になったら、中学校へ向けた生活や学習についても意識していく必要があります。少しずつ身に付けていけるよう、中学校の様子についてお子さんと話し合う機会をもっていただきたいと思います。

・ 中学校と小学校の出口の違い

中学校と小学校の大きな違いは、それぞれのお子さんの目標によって、卒業までに進路を決定していかなければならないことです。その時に通らなければならない関門として、「高校受験」があります。ほとんどの場合、入学選抜試験を受験しなければなりません。

・ 定期テスト

小学校では、各教科で単元が終わるたびにテストがあります。中学校ではこれに加えて中間テストや期末テストといった定期テストもあります。

また、自分の現時点の学力を測る学力テストもあります。テストの範囲が広くなり、1日に何教科ものテストがありますので、日常の学習、家庭での復習はもちろんのこと、テストに向けて計画を立て、実行していくことも大切になります。

・ 成績は

各学期ごとの定期テストの結果が成績に大きく関係します。ですから、テスト前になると皆頑張って勉強します。部活動も原則として試験前は活動停止となります。

また、普段の学習も大切であり、「授業に取り組む態度」、「提出物をきちんと出したか」、小テスト、単元テストなどをあわせて学期ごとに成績がつけられます。

実はこれらの成績は、入試にも関係します。つまり、中学校1年生からの取り組みが進路につながっていくのです。



5年生の家庭学習 … 50分～

◎学年で身に付けたい力

- 配当漢字185字すべてが読めて書ける。
- 習った漢字を使った熟語を書く。
- 小数のかけ算わり算ができる。
- 分母が等しい分数のたし算ひき算ができる。
- 百分率を使った問題を解ける。
- パソコンでローマ字入力ができる。
- 人の誕生や成長、物の動きの規則がわかる。
- 日本や世界の主要国の位置がわかる。



目標

- ◎家庭学習を確実に身に付けましょう。
- ◎毎日50分以上、学習しましょう。休みの日や夏休みはもっとがんばってみましょう。
- ◎自分に合った自主的な学習にも取り組みましょう。

家庭学習の前に…

- テレビやゲームのスイッチは消しましたか？
- 勉強する場所は、かたづいていますか？

こんな学習をしましょう

- ①はじめに 宿題を します。（おわったら お家の人に 見て もらいましょう。）
- ②つぎに 下の ような 勉強を しましょう。

【国語】

おすすめ	学習の仕方
1 教科書を読む	○今 勉強している ところを 声に出して 読みます。
2 漢字を練習する	【ドリルを使って】 ① 漢字のところを、3回読みます。 ② ひらがなのところを見て、ノートに漢字に直して書きます。 ③ もう一度、漢字のところを見て、答え合わせをします。 ④ まちがえていた字をノートに3回書きます。 ○漢字を使ったじゅく語を調べて書きます。 ○習った漢字を使って短文を作り、ノートに書きます。 ○部首や画数を調べて、ノートに書きます。
3 意味を調べる	① 語くを写します。 ② 辞典で意味を調べます。 ③ 例文を写します。 ④ 調べた語くを使って短文を作り、ノートに書きます。
4 大事なことをまとめる	○学習したことの大事なところを、自分なりにノートに写してまとめてみます。
5 し写をする	○教科書の文を速くていねいにノートに写します。（ノート1ページくらい） ※（、）や（。）、（「」）、マスの使い方に気をつけて写します。
6 短歌・俳句・詩を書く	○様子や気持ちを工夫して表げんします。
7 日記を書く	○題や月日を書きます。 ○できごとや気持ちを工夫して書きます。 ○習った漢字や語くを使って書きます。 ○会話の「」やだん落に気をつけて書きます。
8 読書をする	① 教科書に出てくる作者の他の作品など、色々な本を読みます。 ② 読んだ感想をノートに書きます。（読み終わった日付、題名、著者、感想5行くらい）

【算数】

おすすめ	学習の仕方
1 ぶく習をする	① 学校で学習した問題を、もう一度ノートにやってみます。 ※文章問題は、問題文も写します。 ② 算数のノートを見て、答え合わせをします。 ③ まちがえたときは、もう一度します。（次の日も解いて確かめます。）
2 計算の練習をする	【ドリルを使って】 ① 番号を書き、問題をノートに写して書きます。 ② 式や答えを書きます。（筆算も書きます。） ③ 答え合わせをします。 ④ まちがえていた問題は、お家の人や先生に聞くなどして、しっかりと直します。 ○時間を計って記録していきます。
3 予習をする	① 次に学習するところを読み、解いてみます。 ② わからないところをチェックしておきます。

家庭学習のあとに…

- しっかり学習できたか振り返ってみましょう。（時間は？内容は？姿勢は？）
- 筆箱の中身や時間割を確かめて明日の準備をしましょう。

6年生の家庭学習 … 60分～

◎ 学年で身に付けたい力

- ・小学校で習ったすべての漢字が読めて書ける。
- ・小学校で習った漢字を使った熟語を書く。
- ・短歌や俳句のいくつかを暗唱できる。
- ・分母のたし、ひき、かけ、わり算ができる。
- ・単体量あたりの考え方や速さの計算ができる。
- ・歴史上の人物や事件について、だいたい説明できる。
- ・重要な年号をある程度おぼえている。
- ・日本国憲法の3原則や三権分立など、社会用語をだいたい説明できる。
- ・理科の実験道具の名称がわかり、正しく扱い方がわかる。
- ・パソコンで速くローマ字入力ができる。



目標

- ◎集中して学習しましょう。
- ◎毎日60分以上、学習しましょう。休みの日や夏休みはもっとがんばってみましょう。
- ◎自主的な学習に進んで取り組みましょう。

家庭学習の前に…

- テレビやゲームのスイッチは消しましたか？
- 勉強する場所は、片付いていますか？

こんな学習をしましょう

- ①はじめに 宿題をします。（おわったら お家の人に見てもらいましょう。）
- ②つぎに 下の ような 勉強を しましょう。

【国語】

おすすめ	学習の仕方
1 教科書を読む	○今 勉強している ところを 声に出して 読みます 【ドリルを使って】
2 漢字を練習する	① 漢字のところを、3回読みます。 ② ひらがなのところを見て、ノートに漢字に直して書きます。 ③ もう一度、漢字のところを見て、答え合わせをします。 ④ まちがえていた字をノートに3回書きます。 ○漢字を使ったじゅく語を調べて書きます。 ○習った漢字を使って短文を作り、ノートに書きます。 ○部首や画数を調べて、ノートに書きます。
3 意味を調べる	① 語くを写します。 ② 辞典で意味を調べます。 ③ 例文を写します。 ④ 調べた語くを使って短文を作り、ノートに書きます。
4 大事なことをまとめる	○学習したことの大事なところを、自分なりにノートに写してまとめてみます。
5 し写をする	○教科書の文を速くていねいにノートに写します。（ノート1ページくらい） ※（ ）や（ ）、（「」）、マスの使い方に気をつけて写します。
6 短歌・俳句・詩を書く	○様子や気持ちを工夫して表げんします。
7 日記を書く	○題や日付を書きます。 ○できごとや気持ちを工夫して書きます。 ○習った漢字や語くを使って書きます。 ○会話の「」やだん落を使って書きます。
8 読書をする	① 教科書に出てくる作者の他の作品など、色々な本を読みます。 ② 読んだ感想をノートに書きます。（読み終わった日付、題名、著者、感想5行くらい）

【算数】

おすすめ	学習の仕方
1 ふく習をする	① 学校で学習した問題を、もう一度ノートにやってみます。 ※文章問題は、問題文も写します。 ② 算数のノートを見て、答え合わせをします。 ③ まちがえたときは、もう一度します。（次の日も解いて確かめます。）
2 計算の練習をする	【ドリルを使って】 ① 番号を書き、問題をノートに写して書きます。 ② 式や答えを書きます。（筆算も書きます。） ③ 答え合わせをします。 ④ まちがえていた問題は、お家の人や先生に聞くなどして、しっかりと直します。 ○時間を計って記録していきます。
3 予習をする	① 次に学習するところを読み、解いてみます。 ② わからないところをチェックしておきます。

家庭学習のあとに…

- しっかり学習できたか振り返ってみましょう。（時間は？内容は？姿勢は？）
- 筆箱の中身や時間割を確かめて明日の準備をしましょう。



できることいっぱいみつけよう
美幌町立美幌小学校

〒092-0062 美幌町字西2条北4丁目
TEL:0152-73-2019・4430